

福島市小鳥の森通信

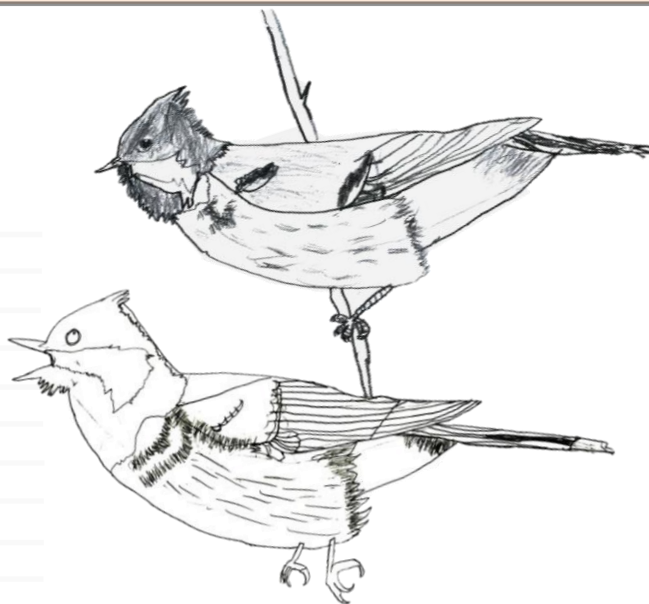
しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう127

ヒガラ

分類：スズメ目 シジユウカラ科

大きさ：10～12cm

鳴き声：ツピンツピンツピン
ツー、ツリリ小鳥の森でよく見られる時期
・10月～4月小鳥の森で見られる場所
・カワセミの小径などのアカマツ林上：きくちえいたさん
下：きくちそなたさんが描いてくれました。

11月

いきもの森予報

森の落ち葉バリエーション

11月になると昼夜を問わず冷えるようになってきます。また、小鳥の森の木々は枯れ葉が目立ち始め、冬の訪れを知らせてくれます。

森の中を歩くと、いろいろな形の葉が落ちていることに気づきます。例えば、大きなギザギザに縁取られた細長いコナラの葉、丸みを帯びたガマズミの葉、手のひらに似たカエデの葉、先が尾のように伸びるサクラの葉、お面のように大きなホオノキの葉などです。形だけでなく、色や触り心地、生えている場所も種類によって様々。普段は高い枝先にあって触れられない葉っぱも、落葉すると手にとって観察しやすくなります。

みなさんの家の周りや公園、街路樹、雑木林にある葉はどうでしょう？紅葉を楽しみながら、落ち葉の形や色などに注目してみてください。新たな発見があるかもしれませんよ。

※紅葉した葉の中には、ウルシなどの触ると危険な葉もあります。
知らない葉はむやみに触れないようにしましょう。



イタヤカエデ



ウリハダカエデ



サクラの仲間

渡りの季節

10月に入り、ぐっと太陽が出ている時間が短くなりました。暦の上では8日頃を寒露（かんろ）、24日頃を霜降（そうこう）と呼ぶのに違わず、寒さが顔を覗かせる小鳥の森でした。

一段と秋らしくなった園内では、葉の色が変化していくように、見られる野鳥の種類にも変化がありました。今年は、エゾビタキやアカゲラが小鳥の森に立ち寄って行きました。

エゾビタキは胸から脇にかけての白地に灰色の縦じま模様が特徴の旅鳥です。ロシアなどから東南アジアなどへと越冬するための中継地として小鳥の森にやってきます。アカメガシワなどを盛んに食べ、また南へと移動して行きました。

アカゲラは主に秋から春にかけて園内で見られるキツツキの仲間で、木の幹で餌を探す姿を観察することができました。



エゾビタキ



アカゲラ

スタッフだより

小鳥の森は39歳です

11月1日、小鳥の森は39回目の誕生日を迎えました。小鳥の森は昭和58年11月1日に開園したのです。

開園したての森にあった2m位の幼い木は、今では15mを超える大木になりました。一方、笹や草に覆われ鬱蒼（うっそう）としていた林の中は、下草刈りを続けた方々の努力で明るく見通しの良い姿になりました。

今、秋が深まった散策路を歩くと、夏の間に日光をたっぷり受け、真っ赤に色づいたガマズミの実やサクラの葉が心を癒（いや）してくれます。

このような気持ちの良い自然は里山と言い、時間をかけて手入れを続け維持されたものなのです。

来年40周年という節目の年です。これからも福島市民の皆さまに、生き物と触れ合え、安全で心地よい森を提供できるようにスタッフ一同努力をしていきたいと思ひます。

アシスタント・レンジャー 弦間一郎

イベント報告

10月の観察会報告

10月9日（日）に「小鳥の森の秋探し」を開催しました。

まずは散策路で木の実や紅葉（黄葉）した葉などを中心に発見。他にも昆虫や鳥の鳴き声などを見つけたり聞いたりすることができました。続いて、採集できた木の实や葉を同じ種類ごとに紙皿に分けるワークショップ。合計で25種類もの秋を見つけることができました。その後も自然物を題材にしたミニゲームなどを行い、たくさんの秋探しの収穫が得られた会になりました。

※小鳥の森では動植物の採集は禁止しています



観察した「秋」



小鳥の森の秋探し

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧ください。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2022年11月号№438／企画・発行：福島市小鳥の森／NPO法人野鳥の会ふくしま 小鳥の森HP

